

## 5 5 消毒用アルコールの安全な取扱い

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、手指の消毒等のため、消毒用アルコール（危険物第四類アルコール類）を使用する機会が増えています。

消毒用アルコールは火気により引火しやすく、また発生する可燃性蒸気は低所に滞留しやすいため、取り扱いを誤ると火災を引き起こす可能性があります。

下記事項に注意しましょう。

### 1 火気の近くでは使用しない

消毒用アルコールを使用する付近では、喫煙やコンロ等を利用した調理など、火気の使用はやめましょう。

### 2 詰替えを行う場所では十分に換気をする

アルコールの詰替えを行う際は、可燃性蒸気が発生し、空気より重いため低所に滞留する性質があります。通気性の良い場所や常時換気が行える場所を選びましょう。

### 3 直射日光が当たる場所・高温となる場所には置かない

消毒用アルコールが直射日光に熱せられることで、可燃性蒸気が発生し、火災の原因になる可能性があります。また、容器を落下させたり、衝撃を与えないようにしましょう。

### 4 容器への詰替えの際は漏れ・あふれに注意する

詰替え時は作業に十分注意するとともに、容器に消毒用アルコールである旨や「火気厳禁」等の注意事項を記載しましょう。

消毒用アルコールの安全な取扱い等について（消防庁 HP）

[https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/200318\\_kiho\\_77a.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/200318_kiho_77a.pdf)

